

広がれ！さくほの輪

さくほ通信



Vol.12

2023年10月26日発行



八千穂レイクで紅葉祭

毎年恒例の紅葉祭・商工観光祭が、10月8日に佐久穂町商工会青年部、佐久穂町観光協会、佐久穂町商工会の主催で開催されました。前週からグッと気温が下がり曇天でしたが、開催中は雨も降らず1000人弱の来場者が秋の味覚に舌鼓を打ったりイベントに参加したりと、思い思いに楽しみました。

商工会青年部長の上原直樹さんは、「コロナ禍の後でイベントも増えてきたなか、これだけの人が集まってくれたのが嬉しかった。久々の本格開催で、どの部会も力が入っていた」と振り返ります。来場者にはリピーターの方も多く、今年はなかった「ブルーの種飛ばし」をまたやりたい、といった要望も聞こえてきたそう。そういった声はきっと次回以降の企画・運営に活かされることでしょう。



豚汁に甘酒の振る舞いに
体も心もホッコリ。



老若男女が真剣に競う丸太切り大会。
1位の賞品は佐久穂町の特産品セット！



しらかばちゃん・秋のファン祭りでは佐久を拠点に活動するパフォーマンスアイドルユニット「D-CORE」もステージを盛り上げました。



紅葉祭のあとは釣りも！という家族連れがたくさんいました。

ステージ

- 10:00 開会式
- 10:30 佐久穂町観光フォトコンテスト表彰
- 11:00 しらかばちゃん・秋のファン祭り
- 12:30 丸太切り大会
- 14:00 閉会式

その他の主なイベント

- 八千穂レイク宝探し
- 木工クラフト工房
- キッズスペース
- 特産品販売

スウェディッシュトーチ販売

さくほのひとさら



Instagram



公式サイト



栗のモンブランもいいけど、かぼちゃのモンブランも！
甘くてなめらかな舌ざわりに豊かな秋を感じます。

洋菓子製造・販売 Hiraku
畑3878-9 TEL 0267-88-8037

町外の人も

佐久穂町公式LINEで さくほの情報をGETしよう！

さくほ通信では町公式LINEにてイベント情報など町外在住の方々への情報もお届けしています。ぜひご登録ください。



LINE ID
@003mixyx

町の注目情報

町内で出た石器、何がすごい!?

8月10日、信濃毎日新聞1面に「佐久穂で国内最古級の石器」という記事が載りました。これがどんなにすごいニュースなのか、佐久穂町教育委員会生涯学習課文化財・芸術係の学芸員 羽毛田卓也さんに伺いました。



羽毛田卓也さん

トリデロック遺跡で50年ぶりの発掘調査

貴重な石器が見つかった場所は、八千穂高原の麦草峠付近、標高約1700メートルに位置するトリデロック遺跡です。原始時代の遺跡の中で、石器の材料となる黒曜石が取れた場所は“原産地遺跡”と呼ばれ、石器時代の人にとっては貴重な生活の場所でした。トリデロック遺跡もそのひとつで、1971年の発掘調査でもここで作られた石器が出土しています。しかし当時の技術では、それらが作られた時代を細かくは特定できませんでした。



左から尖頭形剝片、石刃、少石刃
(国武貞克さん撮影)

日本に来た最初期の人類がこの地域にいた証拠

新たに発掘されたのは、尖頭形剝片(せんとうけいはくへん)、石刃(せきじん)、少石刃(しょうせきじん)の“3点セット”。これは、私たちの直接の祖先であるホモ・サピエンスが作った最初期の石器の形です。この3点セットはタジキスタン、ロシア、北朝鮮や韓国などでも見つかっており、国内では2020年に佐久市の香坂山遺跡で出土しました。トリデロック遺跡での発見は、現生人類がユーラシア大陸から日本列島に渡った初期の頃に佐久地域で一定期間すごしたことを示す重要な証拠だと、羽毛田さんは考えます。

今後も新たな発見の可能性

出土品の年代は、石器の形のほか、出土した地層の火山灰がいつどこで噴火した火山のものを調べたり、地中に埋まった樹木の炭化物を分析したりと、多方面からの調査で特定していくそうです。“3点セット”は37,000~37,500年前のものと推定されています。今後焚き火の跡なども見つければ、100年単位で年代の特定ができるはずだと羽毛田さん。将来の技術発展でより多くのことが判明すれば、トリデロック遺跡の重要性がさらに増す可能性も。そのためにも、遺跡をきちんと保存して未来の研究者たちに託すことが重要だと教えてくださいました。



トリデロック遺跡全景

★11月23日(木・祝) 午後に茂来館にて、今回の調査の報告回を開催予定です★

リレーコラム

さくほ推し♡

佐久穂町出身の皆さんにリレー形式で近況と町への思いを語っていただきます。

第2回：越石聖子さん(佐久穂町高野町出身 佐久市在住)



現在は、佐久市内の病院で事務をしています。3人の子どもがおり、週末は子どもたちの野球やテニスの応援に行くのを楽しみにしています。

慌ただしく過ぎる日々の中で訪れる機会も減ってしまいましたが、佐久穂には自然豊かな思い出がたくさんあり、その存在はいつも心の中にあります。小学生の頃、毎年夏休みには東京のいところが泊まりに来て、一緒に乙女の滝や八千穂高原、白駒池などに遊びに行きました。家族でブルーベリー狩りに行くのも好きでした。私の部屋の窓からは、正面に茂来山が見え、大学で長野を離れたときは、この景色が懐かしかったです。



いとこ一家と乙女の滝で。
中央が越石さん

こんな自然の魅力あふれる佐久穂ですが、現在、大きくてきれいな学校ができたり、おしゃれなお店もできたりして、新たな魅力もあります。多くの方が佐久穂へ足を運び、色んな良さを感じてもらえたらうれしいです。

編集後記：三連休の真ん中に開催された紅葉祭では、遠方から孫のところに遊びに来たおじいちゃんおばあちゃんの姿も見られました。佐久穂の皆さんのあたたかさや自然の豊かさを感じてもらえたのではないかと思います。(E.Y)

<企画・編集> さくほ通信club・(一社)アンテナさくほ

<発行> 佐久穂町役場総合政策課 長野県南佐久郡佐久穂町大字高野町 569 番地 TEL0267-86-2553

さくほ通信club note

